



スクールリポート

▶ 学校教育課
☎22-3679

学校生活の
一コマを
紹介



「地域と共に」

ふるさと六連・田原で学ぶ

六連小学校



●砂丘へゴー(2年生の校区探検)

本校では、田原市教育委員会から研究委嘱を受け、平成30年度から3年間、社会科と生活科を中心に据えて研究に取り組んできました。取り組んできたことの一つとして、隣接の保育園、地域の商店や寺社、自主防災会、市役所などの地域の人とかかわる学習活動があります。

4年生では、「自然災害から暮らしを守る人々の取り組み」というテーマで南海トラフ地震について学習しました。南海トラフ地震について学習した子どもたちは、誰がどのように災害から私たちの暮らしを守っているのか問題意識をもちました。そこで、学校の施設や、市役所の防災センターや防災倉庫を見学したり、自主防災会長さんや六連の消防団の方に質問したり、防災訓練をしたりして、地域の人と関わりながら学習を続けてきました。そして、「防災マニフェスト」として、一人一人が全校のみんなに学習の成果を発信しました。

このように、地域の人と関わりながら、地域への愛着を深めるとともに、社会生活に対する理解と社会へ参画する態度を育てています。



●一緒に防災訓練(4年生の防災学習)



「これからもずっと」

のこそう！つなげよう！自慢の裏山

伊良湖岬小学校

校舎の北にある裏山は、本校のシンボルです。1年を通じ果樹が茂り、果実の収穫が子どもたちの大きな楽しみになっています。頂上まで3つの登山コースが整備され、子どもたちの体力にあった山登りができ、体力の向上にも役立っています。しかし、本校は、今年の9月から新校舎に移転します。今まで慣れ親しんだ裏山とも別れなければなりません。

子どもたちは、これからの裏山をどうしていこうか相談を始め、3年生は総合的な学習で「のこそう！つなげよう！自慢の裏山」というテーマの学習をしました。「たくさんの人に来てもらえるよう、看板やベンチ、マップを作ろう」「きれいな花を植えたい」子どもたちは、裏山のことを真剣に考え、活発に意見交流してきました。地域の市民館に足を運び、自分たちの思いを伝える活動もしました。先日、最後のまとめとして、全校児童の前で学習発表会を開きました。

子どもたちの真剣な眼差しを見ていると、校区の方々や裏山への思いは、確実に子どもたちにつながっていると実感します。これからの未来に「のこそう！つなげよう！自慢の裏山！」



●発表会の様子



●裏山と校舎